

☆☆めざす児童像：「気づく子 学ぶ子 元気な子」☆☆

大村市立大村小学校
学校だより

感じて動く

文責：校長 高木 修
令和7年2月3日 No.21

☆☆子どもが「喜んで登校し 満足して下校」する学校づくり☆☆

◆「ふるさと学」発表会

玖島中学校区の4校（玖島中、三浦小、鈴田小、大村小）は、長崎県教育委員会の研究指定を受けて、昨年度から「小中高が一体となったふるさと教育推進事業」に取り組んできました。研究主題は、「ふるさとのよさを知り、つくる小学生、ふるさとを創り、拓く中学生の育成」です。小・中が連携して系統的に地域についての学びを深めていけるよう、カリキュラムの整理や見直し等を行い、今年度も活動してきました。

その発表会が1月24日（金）に、「シーハットおおむら」で開催され、6年生全員が参加しました。市内外の先生方が70名程参観される中、各校の発表やパネルディスカッションが行われたのですが、本校の代表児童は立派にその役を果たしてくれました。参観の先生方からも、お褒めの言葉をたくさんいただきました。

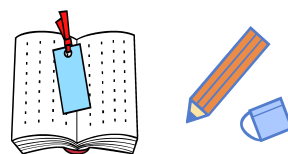
午後からは、玖島中体育館に移動し、「くしマルシェ」にも参加しました。玖島中2年生が企業体験活動として立ち上げた5つの会社が、それぞれに企画・作成した商品を販売していて、会場はたくさんのお客さんで賑わっていました。中学生の先輩方が生き生きと活動する姿はとても輝いていて、6年生は、中学校進学が楽しみになったのではないかと思います。連携のよさを感じた1日となりました。



◆学校保健委員会の講話より

1月30日（木）に、今年度2回目の学校保健委員会が開催されました。その中で、本委員会会長で、学校医の田川正人先生より、「睡眠と発達」をテーマに講話をしていただきました。

発達に関わって、「脳」の話をされたのですが、「脳は使えば使うほど良くなる」「よく眠ることは脳に良い」「規則的な食事を取ることは脳に良い」「運動は脳の発達を育む」ということを教えていただきました。「脳」の中でも特に人間にとって重要な役割を担っている「前頭前野」を鍛えることが大事なのだそうです。鍛えるためには、読書をしたり、手書きで手紙を書いたりすることが良いのだそうですよ。



◆今日は立春



いつもであれば、2月3日が「節分」、そして4日が「立春」と思ってしまうがちですが、二十四節気の日時は年によって前後します。これは暦を調整する「うるう年」があるためです。今年はいうるう年の翌年ですので、1日ずれて、2日が「節分」、3日が「立春」となっています。暦の上では「春」を迎えましたが、今週はとても寒くなりそうです。

規則正しい生活で体調管理をしっかり行い、この寒さを乗り切っていきましょう。